

キリストの聖体

福音朗読 マルコ 14・12-16、22-26

2024.6.2 9:30 ミサ
カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

今日は、このごミサの中で初聖体を受ける方々がいらっしゃいますので、おもにはその5人の人たちに向けてお話したいと思います。でも、またその後続く子どもたちもいるので、今日、お姉さんたちの姿を見て「もうすぐ自分たちもだなあ」ということを思って欲しいんです。

初聖体は——たぶんリーダーたちから習いました——イエス様を自分の中にお迎えするんですよ、ってことです。じゃあ、イエス様を一人ひとりの中にお迎えするには、どういうお迎えの仕方をしたらいいのかなっていうのを考えてみたいんです。それは、自分がお家に帰って来たときとか、おじいちゃんやおばあちゃんのお家に行ったときに、どういうふうにお迎えしてもらったら嬉しいかなあ、どういうふうにお迎えしてもらったら嬉しくないかなあ、っていうことを考えるとちょっと分かるかもしれません。

みんなが学校から帰って来て——お父さんお母さんはもしかしたら大体お仕事に行ってるからみんなの方が先に帰って来るかもしれませんが、もしお父さんお母さんがお家にいたとして——みんなが「ただいま〜」って学校から帰って来たとして、あるいは、時々おじいちゃんやおばあちゃんのお家に遊びに行きますね、そのとき「こんにちは〜」って入って来たとして、「ああ、よく来たねえ。さあさあ、ここに座ってお茶飲みなさい——お茶じゃないかな——サイダー飲みなさい、サイダーかわかんないけど——飲みなさい。どう、学校は？ 最近元気にしてるの？」って色々お話を聞こうとしてもらったら、きっと、「それは当たり前だよ」と思うかもしれないけど、きっと嬉しいと思う。

でも、「こんにちは〜」とか「ただいま〜」ってお家に帰って来たら「あ、帰って来た。はい、廊下の掃除早くして」とか、帰って来たと思ったら「はい、おトイレの掃除しなさい」あるいは「勉強しなさい」って、何かしなさいって急に、おじいちゃんおばあちゃんのお家に行ったとして「こんにちは〜」って言ったら「ああ、これから畑行くから手伝いなさい」って、急にお仕事のことを何か頼まれたら、「ええ！せっかく来たのになあ」とって思ってしまいますね。

イエス様もおんなじかもしれません。お迎えした時に、「イエス様、これやってください。あれやってください」って急に言われたら——でも頼まれたらもちろん喜んでやるんだけど——でもその前にご挨拶があって、そして「イエス様がお話したいことはなんですか」って聞いてあげるっていうか、そうしたらもっと良いんじゃないかなあと思います。

わたしたちは、イエス様は姿は目に見えないんだけど、でも周りの人と同じように心の中に一人のイエス様っていう神様をお迎えする、そういう思いで、「どうしたら喜ぶかなあ」っていういつも考えながらご聖体を拝領したらとってもいいと思います。

それは大人のわたしたちも、イエス様ご自身を心の中にお迎えするんだ——ただ聖体っていう、物に見えるけど物じゃない、イエス様ご自身なんだということを改めて思い起こしながら、一人ひとりの中に、そしてこの教会全体の中にイエス様をお迎えする心で、今日このごミサを、特に初聖体を迎える人たちと一緒に心を合わせてお捧げできたら良いと思います。

じゃあ、話はこれで終わって、ごミサを続けます。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>